

種目名	書写	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	教育出版
-----	----	---------	-----	--------	--	---------	------

発行者 観 点		東京書籍	教育出版	光村図書
1 学習指導要領との関連		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を正しく整えて書くために見通しをもって主体的に学ぶことができるような構成になっている。</li> <li>・書写の学びを他教科や学校生活に生かすための工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に向けて、「書く力」「学び方」「伝え方」を身に付け主体的に学ぶことができるような構成になっている。</li> <li>・書写で学んだことを日常生活や学習活動のどの場面で生かせるか分かるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・单元ごとに学習の進め方を示し、見通しをもって主体的に学ぶことができるような構成になっている。</li> <li>・正しく整えて文字を書く力を他教科や日常の言語生活で生かせるよう工夫されている。</li> </ul>
2 「あいちの教育の基本理念」との関連		<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入段階で課題を見つける設定があり、自ら学びに向かい、主体的に活動しやすい工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『書いて伝え合おう』では、書写で学習したことを、他者に伝えるための具体例が多く取り扱われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語との関連教材が多く取り扱われており、SDGs ブックもあることで、書写での学習が日常生活に活用できるよう工夫されている。</li> </ul>
3 内 容	(1) 内容の選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的な学びができるよう、「見つけよう」「たしかめよう」「生かそう」「ふり返ろう」という学習の流れが意識しやすい構成になっている。</li> <li>・基礎となる用具の使い方や書く姿勢が、丁寧に扱われていることで、基礎的な技能が身に付くよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年で手紙を書く活動が取り扱われていたり、発達段階に応じて学級新聞の書き方が示されていたりすることで、伝え合う楽しさを実感し、主体的に学べるよう工夫されている。</li> <li>・『ふり返り伝え合おう』で相互批正の方法が示されていることに加え、「ためし書き」と「まとめ書き」をする欄で自己批正を行うことで、基礎的な技能が身に付けやすい内容になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大切なポイントが穴埋め式で書き込みできるようにされており、主体的な学びができるよう、内容が工夫されている。</li> <li>・運筆や筆の使い方がイメージしやすいよう、写真やキャラクター、イラストなどを用いて表現されており、基礎的な技能を身に付けやすいよう工夫されている。</li> </ul>
	(2) 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年で学ぶ内容に適した題材が取り上げられており、生活や他教科の学習に生かせるように工夫されている。</li> <li>・書風はのびやかで、筆使いが視覚的に分かるように、朱墨と淡墨で示されている。</li> <li>・「文字といっしょに」では、文字文化への興味・関心を引き出すように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ここが大切」で、学年ごとに児童がつまずきそうな箇所について、細かな説明が記されている。</li> <li>・書風は平易で児童にとって親しみやすく、朱墨と淡墨で分かりやすく示されている。</li> <li>・発展的な学習では、各单元で学んだことを、広げて生かせるような内容が取り上げられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つの単元に学習内容を盛り込みすぎることなく、適度な量で順序良く学習が進められるよう配慮されている。</li> <li>・運筆のポイントが、イラストとともに分かりやすく示されている。</li> <li>・発展的な学習では、他教科の学習内容と関連付けたり、世界の文字や文化に触れたりできるような内容を取り上げている。</li> </ul>

	(3) 内容の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階に合わせた教材が扱われ、既習事項を振り返りながら基礎的・基本的な事項を確実に習得できるよう工夫されている。</li> <li>・水書での運筆や筆圧の体験を硬筆に生かしたり、毛筆で学習したことを硬筆で確かめたりし、硬筆と毛筆の関連性を理解できるよう工夫されている。</li> <li>・「見つけよう」で自分の課題を設定し、「書写のかぎ」文字を整えて書くためのポイントを確認した後、文字を書いて確かめることで、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。</li> <li>・俳句や古典、漢文を書いて味わう活動や文字の成り立ちを知ることで、我が国の文化を尊重する心を養うよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階に合わせた教材が扱われ、既習事項を振り返りながら基礎的・基本的な事項を確実に習得できるよう工夫されている。</li> <li>・水書での運筆や筆圧の体験を硬筆に生かしたり、毛筆で学習したことを硬筆で確かめたりし、硬筆と毛筆の関連性を理解できるよう工夫されている。</li> <li>・「生かそう」で他教科に応用する展開を繰り返すことで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>・古典や書き初め、年賀状を書く活動や、文字の成り立ちを知ることで、我が国の伝統や文化を尊重できるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階に合わせた教材が扱われ、書写の学習の基礎的・基本的な事項を無理なく習得できるよう工夫されている。</li> <li>・水書での運筆や筆圧の体験を硬筆に生かしたり、毛筆で学習したことを硬筆で確かめたりし、硬筆と毛筆の関連性を理解できるよう工夫されている。</li> <li>・「学習の進め方」が全教材に書かれており、主体的に学習を進めることができるとともに、「たいせつ」を確認することで学習のポイントを確実に身に付けることができるよう工夫されている。</li> <li>・『もっと知りたい』では、文字の歴史や各地の毛筆用具を紹介し、書写についての興味・関心を高めることができるよう工夫されている。</li> </ul>
4 表記・表現及び使用上の便宜等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習過程は同じ場所に配置され、使用色も少なく、シンプルに示すことにより、学習の流れやポイントが分かりやすくなっている。</li> <li>・朱墨と薄墨で運筆を示したり、穂先をイラストで表したりして、学習するポイントが視覚的につかみやすい。また、キャラクターによる助言は、意識づけに効果的である。</li> <li>・児童にありがちな課題を例に出し、どうすれば解決できるか考えさせている。</li> <li>・『生活を広げよう』『文字といっしょに』では、書写の学習で身に付けた力が、国語や他教科、日常生活に活用できるよう工夫されている。二次元コードをタブレット端末等で読み取ると、筆使いや筆順を確認できるなど、自学自習にも役立つ工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「考えよう」「ここが大切」「生かそう」の三つのステップで、学習の流れが分かりやすく示されている。</li> <li>・朱墨と薄墨で示された図版や写真の掲載に合わせて、筆使いや字形の整え方を確かめるポイントが示されており、視覚的に学習内容が理解できるようになっている。</li> <li>・授業のはじめに「ためし書き」で自分の課題に気づき、授業の終わりに「まとめ書き」をして比べることにより、1時間の授業の中で自らの成長に気づかせる工夫がされている。</li> <li>・『レッツ・トライ』『書いて伝え合おう』では、書写の学習で身に付けた力が、国語や他教科、日常生活の「どの場面で」生かせるのかが、すぐに分かるように工夫されている。二次元コードをタブレット端末等で読み取ると、運筆や筆使いを確認することができるなど、学びが深まる工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習の進め方」が各教材に示され、学習の流れがひと目で分かるよう工夫されていて、見通しをもって取り組むことができる。</li> <li>・「たいせつ」で、学習のポイントが簡潔にまとめられている。</li> <li>・学習のポイントが、穂先の写真に加えキャラクターの動きやオノマトペ、穂先や筆圧の図と組み合わせるなどして図解の工夫がされていて、イメージしやすい。</li> <li>・『書写広げたい』では、書写の学習で身に付けた力が、国語や他教科、日常生活に活用できるよう工夫されている。二次元コードをタブレット端末等で読み取ると、毛筆や硬筆教材の筆使いを確認することができるなど、学びが深まる工夫がされている。</li> </ul>

5印刷・造本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年ごとにテーマカラーがあるとともに、学ぶ項目によって色分けされており、全体的に落ち着いた色合いでまとめられている。</li> <li>・適度な情報量ですっきりとまとめられ、大事な情報に着目できるよう配慮されている。</li> <li>・表紙は、水や墨に汚れにくい加工が施され、堅牢な作りである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてや書写用語など大切な情報には鮮明な色で効果的に配色されている。</li> <li>・イラストや写真を多用し親しみやすく、フォントや配色、レイアウトなどにおいてユニバーサルデザインに配慮した作りになっている。</li> <li>・机上の場所をとりすぎないサイズの横幅で、表紙は水や墨に汚れにくい加工が施され、抗菌仕様になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習ポイントが分かりやすく朱墨と鮮明な配色で示されているとともに、学年ごとのベースカラーは優しい色合いが使われている。</li> <li>・情報が精選され、余白が多くとってあり、紙面構成がすっきりしていて見やすくまとめられている。</li> <li>・表紙は、水や墨に汚れにくい加工が施され、環境に配慮した紙、インキを使用している。</li> </ul>
---------	---	--	---